ニューヨーク補習授業校だより

平成２９年度　　第１８号
校 長　青木　正彦

世界に羽ばたくグローバル人材をニューヨーク補習授業校から。

幼児部から高等部まで、W校、LI校合わせて200名もの新入生をお迎えしました。平成29年度、本校は、児童生徒数766名で出発します。どうぞよろしくお願いいたします。

雨垂れ石を穿つ

～平成29年度始業式の言葉から～

さて、在校生の皆さん、進級おめでとうございます。
人は皆、階段を登るようにして成長していきますが、皆さんは今、まさに進級して、新しい階段を一段登ったのです。その新しい世界で、「自分を大切に」、「仲間を大切に」、「授業を大切に」する努力を、続けてほしいと思います。

日本のことわざに、「雨垂れ石を穿つ。」とあります。少し聞きなれない言葉かもしれません。「軒下から落ちるわずかな雨のしずくでも、長い間、同じ所に落ち続ければ、ついには硬い石に穴をあける」という意味です。つまり「小さな努力も続けていれば、必ず報われて成功する。」ということです。

「雨垂れ石を穿つ。」
補習校での土曜日だけの授業でも、それを大切にすることで、皆さんは、「かけがえのない大きな力」を身に付けることができるのです。
補習校での仲間との関わりも、それを大切にすることで、「かけがえのない大きな力」を身に付けることができるのです。
補習校に、週に１回しか通わないけれども、自分で楽しく生活する努力を続けていれば、必ず報われて、「かけがえのない大きな力」を身に付けることができるようになるのです。それが自分を大切にすることでもあります。

「雨垂れ石を穿つ。」
新しい世界で、新しい自分をつくってください。可能性いっぱいの進級した皆さんの「これから」を楽しみにしています。